

26. 精神科 ジュニア・レジデントプログラム

1. 指導責任者 医療法人桜花会醍醐病院 的場祥人（副院長）

2. 期間 4週間、（必修）

3. 目標

【G10】

精神医学分野での面接技法、症候学、診断学、薬物療法、精神療法、精神保健福祉法、社会復帰資源等に関する基礎的な知識を習得し、身体・社会・心理的な側面から患者の全人的な理解ができ、プライマリーケアの範囲での精神科的診断治療、並びに患者及び家族に対する心理的な配慮、生活指導などが行える。

【SB0 s】

- 1) 患者の症状を正確に捉え、専門用語で記述的に表現することができる。
- 2) 患者の人生経験全体の流れの中で現症を捉え、病歴を記述することができる。
- 3) ICD-10, DSM-IV-TR 等の国際的な診断基準に基づき、代表的な精神疾患の診断ができる。
- 4) 代表的疾患の初期的薬物療法ができる。
- 5) 受容的、支持的な精神療法を下地として、患者、家族との面接及び心理的サポートができる。
- 6) 患者が精神科病院へ入院する際の基本的な権利が説明でき、当該患者が精神科病院へ入院すること
が適切であると考えたときの入院形態の予測ができる。
- 7) 社会復帰に役立つ社会資源の種類や相談機関について、患者や家族への説明ができる。
- 8) 適切なタイミングで関係諸機関や精神科専門医にコンサルトすることができる。

4. 方略

L S 1 (OJT)

- 1) 外来新患の予診面接
- 2) 外来再診患者の診察陪席
- 3) 新旧入院患者に対する副主治医としての診療 統合失調症、気分障害、認知症等約10人前後を予定
- 4) 社会復帰訓練（S S T）やデイケアへの体験参加

L S 2 (勉強会)

- 1) ミニレクチャー

精神医療の歴史、精神科症候学、精神科診断学、精神保険福祉法概説、精神療法概説、精神科薬物療法概説、統合失調症概説、気分障害概説、高次脳機能障害概説、思春期疾患概説、リエゾン精神医学概説、心理検査法概説、リラクゼーション法概説等のカリキュラムの中から約10回

- 2) 各種心理テスト被験者体験（ロールシャッハテスト、樹木画テスト、エゴグラム、WAIS等）
- 3) 定例勉強会参加（認知療法勉強会等）
- 4) 病棟ケースカンファレンス発表

週間スケジュール例

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	デイケア体験参加	外来陪席及び予診	外来陪席及び予診	外来陪席及び予診	外来陪席及び予診
午後	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察
夕方	認知療法勉強会		ミニレクチャー		ミニレクチャー

5. 評価 EV

- 1) EPOCによる評価
- 2) カルテ記載内容のチェック
- 3) レポートチェック

6. 一言

どのような病気でも、病気は病む人だけでなく、その御家族や近親者にも、苦しみ悲しみをもたらすものです。また病む人はただその人だけの理由で病む場合ばかりではなく、その人を取り巻く環境や、時代等の影響までを否応なく受けるものです。

当院で精神科研修を行うことにより、病気を、無機質で無個性な現象ではなく、時間や社会的空間などの拡がりを持った立体的で人間的、個性的な現象として捉えるきっかけとなり、患者さんに対して常に人間的な共感を抱きながら医療者として関わる能力が身に付く助けになれば幸いです。